



教育センター・育成センター所報

GALILEI



オープニング実験ショー『科学クイズ』



『小野寺博士の秘密の実験ショー』



チャレンジ研究室『化石発見!』



『まゆだまころりん』



『ネイチャークラフト』



『スコープつきティッシュガン』



★  青少年のための科学の祭典 2014 柏崎刈羽大会 11月15日(土)会場:新潟工科大学



CONTENTS

○今月の巻頭言..... P 1

★やりがいをもてることの大切さと難しさ

教育センター運営委員

柏崎市立柏崎小学校長 柳 恒雄

○教育センターだより

★アクセス(教育研究班)..... P 2

★プロジェクト K(科学技術教育センター)..... P 6

★心の窓(教育相談班)..... P 10

○12月の行事予定表..... P 12

○所員随想「つれづれ」..... P 12

★鼻濁音 教育研究班指導員 小林 淑子

平成26年11月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

やりがいを高めることの大切さと難しさ

教育センター運営委員
柏崎市立柏崎小学校
校長 柳 恒雄



10月、11月には、郡市学校教育研究会指定等いくつかの研究発表会がありました。その授業を参観すると、子どもたちの意欲的に学び、力を付けている姿がたくさん見られます。子どもたちのよさや可能性に感動し、学校に戻ってまたやり直そうという元気をもらってきます。

研究指定は、その多くが輪番や諸条件を考慮して決まるもので、自分の学校でやってみたいという、職員の総意で決まるものではありません。しかし、研究指定を受けた以上、校長は教職員に研究実践の動機付けや方向付けをして、教職員をまとめていかなければなりません。研究発表会で目指す子ども姿を具現するまでには、教職員の相当な努力があったわけで、多忙な日々は間違いなく続いたことでしょうし、多忙感を感じる教職員もいたはずですが。

学校は、平成22年度に示された新潟県教育委員会の「多忙化解消アクションプラン」に基づいて多忙化解消の取組を行ってきました。教職員の本務である子どもたちと向き合う時間を十分に確保するためです。26年度からは「第2次アクションプラン」に基づいた取組が始まっています。

第2次プランには「日常的に子どものことを話題にし、成長を喜び合う雰囲気大切にするとともに、管理職から教職員への賞賛や励まし、お互いの認め合いなど、認め励まし合う温かな職場づくりに努めてください。これにより、やりがいや充実感を高めることができます」という留意点が示されています。しかしながら、「多忙感と多忙の解消において、気持ちの面だけが強調されると現場の期待からずれるという危惧があります。気持ちさえ切り替えれば乗り切れるというではありません」といった意見もあるわけで、「多忙化解消」は大きな課題になっています。

「教育は、何をやってきたかではなく、子どもをどう変化・成長させてきたかといった観点で評価されていくものである」「子どもの姿で語ると次が見えてくる」そう言い続けてくると、当校のグランドデザインには「子どもの姿で語る柏小PDC(Child)Aサイクル」といった表現が見えてきました。「会議や研修では常に子どもの変化や成長を語り合うことにする。その満足度を8割とする」というものです。これは第2次プランでの留意点と同じ発想ではありますが、「C(Child)」とはとてもよいセンスです。どこまで成果が上がるか見届けることになりました。

会議や研修のスタイルは変わりました。そして、子どもの姿で語り合うことの日常化によって、生徒指導上の校内支援会議の必要性を強く感じるようになり、実際に多くなっています。

教職員にはよくやってくれるという感謝の気持ちがあります。しかしながら、「今日もまた校内支援会議か。他の仕事もあるのに」と思う教職員もいるはずですが。「予め終了時刻を決めてから始めよ。終了時刻に近づいたら会議のまとめに入り、成果を確認せよ」という指示を出しました。個人の仕事に見通しがもてて、安心して会議に参加してもらえればありがたいからです。よりよい動機付けや方向付けができるよう、教職員の姿をしっかりと見ていきたいものです。

■研修講座より

目の前にある教科書を創造的に使おう！

◆10/23（木）英語教材研究「Ⅱ」

講師：魚沼市立堀之内中学校長 小林 豊 様

この講座は、魚沼市立堀之内中学校長 小林豊先生をお迎えして行いました。小林校長先生は、あるとき「教室の授業が乾いている、潤っていない」と感じ、

- ・ドラマ的手法 ・前のセリフ（言葉）を重ねる
- ・叙述文を「橋渡しのセリフ（合いの手）」を入れる
- ・視点をかえる ・新たなセリフ（言葉）を加える
- ・陰の声（shadow voice）を入れ対話しながら読む

等の方法を考案されたとのことでした。講座では実際に教科書や資料を使いながら模擬授業風に研修を進められ、その中で「小学校の国語の教科書を読んでもらいたい」「教科書センターを有効に活用を」「アカデミックな楽しさを」等を強調していただきました。



講師の小林豊先生を囲んでの研修の様子

参加された先生方の感想として「開始直後から参加者との対話を行いながら進める講座で、英語での会話の状況を考えながら学びを深めることができました。」「小林先生の英語教育観に触れることができ、セリフを新たに加える等、自分なりに潤いのある教材を作る意欲がわいてきました。」等、今後の授業づくりへの意欲が高まる記述が数多くありました。

子ども時代の豊かさが大人時代を支える

◆10/31（金）子ども虐待防止講演会 講師：東京有明医療大学 准教授 千葉 喜久也 様

この講座は、柏崎市民プラザ波のホールを会場に東京有明医療大学、千葉喜久也先生をお招きして行いました。冒頭、「空より高く」の曲で講演が始まりました。「どんな空より高い心をもっている。だからもうだめだなんてあきらめないで…人は海より深い心をもっている。どんな海より深い心をもっている…」という歌詞でした。

会場にいる誰もが子どもの虐待防止に真剣に向き合おうとする思いになりました。千葉先生は「虐待は社会の一番弱い部分にひずみが現れた現象」と言い切り、社会全体で防止に向けた取組が必要であることを力説されていました。そして、虐待をしてしまっている人に対しては「まず、今のままでいい。そこから始める。がんばってきたこれまでの時間を肯定してあげることがどれだけ勇気づけることになるか、を考えてほしい。」とも語られました。そして「愛情を注いで、手をかけて育てた子どもはたとえ大きな心の傷を負っても浅くて済む、立ち直れる。」ということも語っておられました。



講師の千葉喜久也先生

参加された方の感想として「子育てとは、まず、子どもを抱きしめることだと感じた。」「子ども時代の豊かさが大人時代を支えることを学んだ。子どもに安心と自信を持たせたい。」等、子どもを育てていくことの重みを感じさせる記述が多くありました。

「防災教育」とは「生き方教育」そのもの

◆11/11（火）防災教育講演会「防災力革命」

講師：公益社団法人中越防災安全推進機構地域防災力センターセンター長 諸橋 和行様

この講座は、中越防災安全推進機構地域防災力センターより諸橋和行センター長をお招きして行いました。冒頭、諸橋センター長は「災害時に対して何か家族の備えはありますか？」という質問をされました。参加者からは「家族が落ち合う場所を決めてある」「風呂の水はいつもはっておく」等の回答があり、そういう意識が大切ですね、とのお言葉がありました。

その後、防災教育では「知っていて、しかも行動もできる」子どもを育てることだと確認し、「災害から児童生徒を守れ、とは言うけれど子どもたちが学校にいるのは総生活時間のわずか2割である」と述べられました。そして「休業中や帰宅後も含めた全ての時間について防災教育を考えて行くことが必要」とも語られました。さらに「子ども自身の生き抜く力を育むことが防災教育であり、主役は子どもたち、教育を行う主体は先生方一人一人です。」と続けました。

その中で強調されていたのは「正解とか結果ではなく、様々なリスクを考慮し考え抜き、納得解を見出していくプロセスが大事。この姿勢を身に付けるのが防災教育。」「防災教育とは生き方教育そのものです。」とも語っておられました。

参加された先生方の感想には「今、教師の姿勢、つまり『この子どもたちを災害で死なせてなるものか』という強い思いが大切だと痛感した。」「新潟県防災教育プログラムを『生き方』という視点で今一度見直してみたい。」等、防災教育に対する意識の変化がうかがえる内容が数多く記述されていました。



講師の諸橋和行センター長

信頼こそ、教育の命

◆11/26（水）法律から考える教育の諸問題

講師：かしわざき法律事務所 弁護士 齊藤辰一郎 様

この講座は、かしわざき法律事務所より齊藤辰一郎弁護士をお招きして行いました。そこでは、まず、いじめについては、「日常的衝突」「教育課題としてのいじめ」「法的問題としてのいじめ」の3つに分類できることをお示しいただきました。絶対に見逃してはいけない「いじめ」の、未然防止に役立つ「窓」であると感じました。

また、過去の判例に基づき、同じ有形力の行使であってもその目的、態様、継続時間によって判断が異なることにも触れられました。プロセスが異なれば同じ有形力の行使があったとしても判例は全く異なることを示されました。

参加された先生方の感想には「私達は予測できた事案に対して『放置、見逃し』をすることが問われるのだと改めて分かった。未然防止対応や初期対応が大切だと改めて感じた。」「有形力の公使によって裁判になった際に問われるのは、その目的、態様等であると学びました。普段の信頼関係がいかに大事かを考えさせられました。」「難しい対応を迫れている昨今、法を理解することで日々の教育活動を自信をもって行うことができると確認しました。」等、職務遂行への意欲を高めることになったことがわかる記述が多くありました。



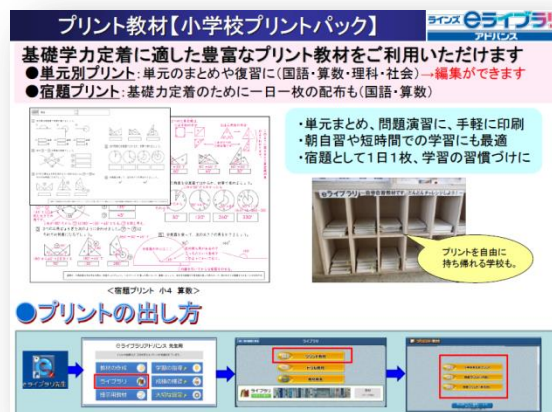
講師の齊藤 辰一郎 弁護士

■ 整備教材の活用を！

eライブラリで、小学校でもプリント教材が利用できるようになりました

eライブラリの教材として、中学校のプリントパックは従来から利用できましたが、小学校のプリントパックも利用できるようになりました。単元別プリントや宿題プリントなど、選択して印刷するだけの手軽さで利用いただけます。ぜひ活用してください。

スクールオフィスの掲示板にも紹介資料を掲載していますので、ぜひご覧ください。



プリント教材【小学校プリントパック】

基礎学力定着に適した豊富なプリント教材をご利用いただけます

- 単元別プリント：単元のまとめや復習に(国語・算数・理科・社会)→編集ができます
- 宿題プリント：基礎力定着のために一日一枚の配布も(国語・算数)

- ・単元まとめ、問題演習に、手軽に印刷
- ・朝自習や短時間での学習にも最適
- ・宿題として1日1枚、学習の習慣づけに

プリントを自由に持ち帰れる学校も。

プリントの出し方

中学校プリントパック

- ・単元別プリント：教科書単元に対応したプリント集(5教科、5,600枚以上！、編集も可能)
- ・全国高校入試問題：全国47都道府県の高校入試過去問題集(最新3年分 数英理社の4教科)
- ・全国高校入試問題過去問DB：難易度や傾向から入試問題を検索可能(最新10年分 5教科)
- ・高校入試模擬試験：高校入試の模擬問題集(6回分 数英理社の4教科)

「業者テストより狭い範囲を扱っているので、復習にちょうど良い！」という意見をいただいています。

小学校プリントパック

- ・単元別プリント：教科書単元に対応したプリント集(1～6年 4教科、約2,300枚、編集も可能)
- ・宿題プリント：基礎力定着のための、漢字と計算の練習プリント(1～6年、国語算数)
- ・教科プリント：発展問題など個別指導に役立つプリント(1～6年 4教科)

◆ アクセス手順



eライブラリ先生

1) 校務PCのデスクトップのアイコンをダブルクリック

2) 「ライブラリ」ボタンをクリック

柏崎市教育委員会 2014年度 ログイン

※ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください

eライブラリアドバンス 先生用

カーソルをのせると、各ボタンの説明が表示されます。

教材の作成	学習の指導
ライブラリ	成績の確認
提示用教材	大切な設定
授業メニュー	プラス学習



■ 情報関連講習会のご案内

12 月に実施される講習会

◆H26.12.18(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

◆H26.12.24(水) デジタルビデオ編集入門

Windows7 で利用できる WindowsLive ムービーメーカーと WindowsDVD メーカーを使って、デジカメやムービーカメラで撮影した映像の簡単な編集手順、DVD への書き込み手順を学習します。WindowsXP の頃のムービーメーカーに比べ、機能がかなり簡素化されていますのでご了承ください。



■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、11 月 12 日付で 11 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 4 件、「重要」が 8 件、「警告」が 2 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

一太郎に深刻な脆弱性

一太郎に PC を乗っ取られる可能性のある深刻な脆弱性が見つかり、ジャストシステムが 11/13 付で更新モジュールを提供しています。更新モジュールが提供されているのは、一太郎 2008 以降のバージョンです(ジャストスマイルは対象外です)。利用されている方は、できるだけ早く更新モジュールを適用してください。

【研修会・事業の様子】

青少年のための科学の祭典 2014 秋・無事終了 (11月15日実施)

♡子どもも大人もにっこにこ・育てよう！科学の芽♡

11月15日（土）恒例の科学の祭典を新潟工科大学で開催しました。地元の企業さんや、新潟工科大学の学生さん、柏崎高校SSH、柏崎工業高校、東中学校科学部の生徒さん、そして柏刈地域の教職員の皆さんからご協力いただき無事終了することができました。秋の祭典は春の祭典とは違い、工科大学の学園祭はないので祭典のみの単独開催です。それにも関わらず、またすごく寒い一日でしたが、1500 人もの来場者を迎えました。今回、24 回目を迎える科学の祭典が地元の理科的行事として定着し、子どもたちの理科への興味関心を育ててきたこと、さまざまな立場の方々が力を結集して一つのイベントを盛り上げてきたこの活動の尊さと歴史を感じました。

一緒に柏崎刈羽の児童生徒の理科に向ける芽を育て、目を輝かせてはみませんか？ぜひ、来年度も科学の祭典にご協力をお願いします。この活動にブーススタッフとして参加することで、心の中に温かい何かが残る体験ができること間違いなしです。この活動を通して中学生、高校生、大学生、大人の輪が広がっていくことを願っています。



オープニング実験ショー「科学クイズ」



お昼の実験ショー 小野寺博士実演中・・・



子ども達から

「新しいブースがあって、いつも楽しみにしています。」
「初めて来たけれど、また来たいと思いました。」
「実験ショーは、自分の予想とは違っていてどうして？不思議？と思いました。わくわくしました。」
「フラネタリウムや化石発見に予約がいっぱいで入れなかったのが残念でした。また、ぜひやってほしいです。」



保護者から

「学校からチラシをもってきた日から楽しみにしていました。無料でこれだけたくさん子どもが遊べて楽しめることがこのイベントの魅力です。」
「にぎやかで子ども達がいきいきしていていいですね。雨なのにたくさんの人でびっくりしました。」
「手作りのフラネタリウム。参加型で子ども達が簡単な操作できるのがよかったです。」
「こういう経験をしている子はきっと、理科が好きになるでしょうね。たくさんの人に来てもらいたいですね。」



協力スタッフ
(中学生)
から

「学校では行わない実験や体験がたくさん出てきて、毎回有意義な時間を過ごさせてもらっています。今回のクラフトは、理科というより工作に近かったですが、手先が器用な部員もそうでない部員も頑張って説明していました。」

「忙しいときは一度に5人の方に説明することもあり、とても大変でした。しかし、自分で作成したオリジナルガンで遊んでいる姿を見ると、うれしくなりました。」

顧問「今まで3回参加させていただきました。最初はたどたどしく説明していた生徒も、今では上手にできるようになったと思います。小さなお子さんから保護者の方まで、幅広い年齢層の方に説明することで、知識が深まるだけでなく、コミュニケーション能力も育ってきているように感じます。回を重ねるごとに生徒の成長を見ることができ、大変ありがたと思っています。」

★★★ 18ブースが登場しました！ ★★★



チャレンジ研究室『化石発見！』



『スコープつきティッシュガン』



『シラスふしぎ発見』



『分子模型を作ってみよう！』



『光と放射線の不思議』



『手作りキャンドルづくり』



『空気ので遊んでみよう』



『くると変身！電磁石』



『作ってみよう！LEDライトの製作』

科学の祭典を支える方の紹介！

東中学校の科学部

東中学校科学部の生徒さんは昨年度からブーススタッフとして活動しています。それ以前は来場者として毎回来てくれていました。ブーススタッフとなり、小学生や小さな子ども相手に現象の面白さやものづくりを丁寧に伝えてくれています。

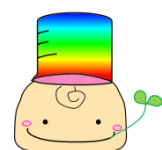
柏崎高校「空気ので遊んでみよう」

柏崎工業高校「作ってみよう！LEDライトの製作」のブース出店！

上の写真にもあるように来場者の子ども達の目線に立って、丁寧に対応していました。頼もしい姿です。

☆科学の祭典にこんな協力方法があります。いかがですか？☆

- ①ブーススタッフとして参加する。
- ②学級・学校で科学の祭典の宣伝をする。
- ③家族やお友達を連れて来場者として参加する。
- ④科学部の活動の場、地域貢献事業の場として・・・



来年度も年に2回あります。お楽しみに！

実感を持った理解をできるだけ感じさせるための教具と活動

◇10月29日（水） 小学校5年生「ヒトの誕生」

講師 小林 多佳子 様（刈羽村教育委員会指導主事）

「ただ調べ学習をして終わらないために・・・」「命の誕生の神秘性やすばらしさ伝えるために・・・」どんな活動をどんな順番で組み立てたらよい活動になるのか、参加した先生方と単元の流れを考えたり、児童の実感につながるような活動を紹介したりしました。



参加者の感想

「児童が目を輝かせて取り組みそうな具体物をたくさん紹介してもらって良かったです。単元について参加した先生方と話し合い、紹介していただいた活動や教具をどこでどんな目的で出すか、全体の構想を計画していく作業が有効でした。」

理科をがんばっている人がいる・・・「理科ってやっぱり楽しい。実践を重ねたい。」と意欲がわく一日

◇11月11日（火） 上越科学技術教育研究会 教職員理科研究発表会

～妙高市わくわくランド新井～

秋晴れの中、上越科学技術教育研究会主催の教職員理科研究発表会が行われました。小学校、中学校、高校での理科教育の28実践が発表されました。理科という一つの教科で学習の進め方の工夫や教材について情報をやり取りでき、たくさんの先生からヒントを得て、子ども達に何ができるか考えることのできる一日でした。

県下生物標本展結果報告

今年度の県の標本展には、柏崎刈羽地区から昆虫・植物・動物標本・自然科学写真部門合わせて11作品が出品されました。審査の結果、以下の賞を受賞しました。おめでとうございます。ぜひ、来年度も多くの方の皆さんの出品をお待ちしています。

部門	学校名	学年	氏名	テーマ	賞
植物	米山小学校	5	近藤 真央	海藻標本	金 賞
	田尻小学校	6	岸 弘貴	イネ科の植物集め	銀 賞
	榎原小学校	6	駒野 妙	山野草の植物標本	銀 賞
	第三中学校	1	近藤 梨乃	柏崎の海藻標本	銀 賞
	第二中学校	1	田邊 郁乃	休耕田に生息する植物	銀 賞
	第二中学校	2	阿部 雄輝	柿畑の下草	努力賞
昆虫	比角小学校	5	山崎 開智	柏崎地域にみられるカミキリムシ類とそのほかの甲虫類	金 賞
	柏崎翔洋 中等教育学校	1	山崎 智晴	柏崎におけるカミキリムシ科甲虫の標本	長岡市 教育長賞
	瑞穂中学校	3	江口 一馬	柏崎の甲虫2013～2014	金 賞
貝	半田小学校	4	矢代 和	柏崎の貝	銀 賞
自然	大洲小学校	3	村山 依織	米山登山道にあるきのこ	努力賞

近々、以下のご案内が学校に届きます。せっかくの機会ですので、興味のある先生方、ぜひお出かけください。冬休みあけすぐの研修会になります。

柏崎市立教育センター主催

(1次案内)

柏崎刈羽地区学校教育研究会科学教育部共催

平成26年度

理科師範授業&講演会

授業公開会場 柏崎市立比角小学校

講演会

演題「交渉中・・・」

○講 師：筑波大学附属小学校 教官
佐々木 昭弘 様

○日 時：平成27年1月9日（金）13:40～16:30

※柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会同日開催（午前）



○日 程

9:20 ～9:40 受付	9:45 ～10:00 全 体 開会式	10:10～12:20 柏刈地区 教職員理科 研究発表会	12:20 ～13:40 昼食 休憩	13:40～14:25 公開師範授業	14:25 ～14:45 休憩	14:45 ～14:50 開会式	14:50～16:10 ご講演	16:10 ～16:30 閉会式
---------------------	------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------	------------------------

・参加を希望される方は、各学校に配布される申し込み用紙に記入し、理科主任を通してご提出ください。または、教育センターまでお電話ください。

【12月の研修会のご案内】

研修の申し込みは今からでも可能です！

○小3「じしゃくのひみつ」

◇日 時 12月 2日（火）15:00～16:45

◇内 容 磁石につくものを探す実験、磁石の性質を調べる実験など学習意欲を高めながら行う授業の進め方について、実習を通して研修します。磁石を使ったおもちゃ作りも紹介します。この単元でよくある児童の素朴概念について理解することで、おさえておくべきポイントが分かります。

○小4「人の体のつくりと運動」

◇日 時 12月10日（水）15:00～16:45

◇講 師 小林 多佳子 様（刈羽村教育委員会指導主事）

◇内 容 生物の構造と機能とのかかわりについて考えさせることをねらいとしています。骨や筋肉などの運動器官のつくりと働きについて、映像や模型を活用して、人の体について理解を深めさせる手だてを紹介し、骨と筋肉の動きの実験器の製作や、手羽先を使った解剖実習などを行います。

心の窓

No.183

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

情報は不足していませんか？

日々のカウンセリング業務に携わる中で、私自身、子どもや保護者の方々から様々な悩みや困りごとを聞いています。その中で、ときどき耳にするのが、「友達に嫌われているかも・・・」「通りすがりにクラスメイトに笑われた」「陰口を言われているかも・・・」など、自分は相手に嫌われている、そして避けられていると感じるというようなエピソードです。

例えば、自分が友達と話していると、周りから笑い声が聞こえてきました。すると、「あの人たちは、私のことを笑っている。笑いものにされた。」と感じてしまいます。または、自分が友達の横を通りすぎる際に、その友達がひそひそ話をしているというような状況もあります。すると、「あの人たちは、自分のうわさ話をしているんだ。」と思ってしまいます。こう考えてしまうと、悲しくなったり、嫌な気持ちになったりして、ネガティブな感情を生んでしまいます。そして、その友達を避けたり、話しかけないようにしたりすることで、友達との関係がギクシャクしてしまうことも考えられます。

これは正しい情報がほとんどない状態（不足した状態）で、結論をすぐに出してしまい、ネガティブな感情を引き起こしてしまう一つの例です。結論に飛躍してしまう状況は、とても極端のように感じるかもしれませんが、私たちは嫌な状況や出来事に対して、その一部分だけに注目してしまいがちです。また、発達の特性やその傾向がある人は特に、出来事の一部だけに注目して、すぐに物事を結論づけてしまう特徴が考えられます。

そこで、結論にすぐ飛躍する前に、別の理由を考えてみましょう。周りで笑っていた友達は、昨日見たテレビの面白かった場面を思い返して、笑っているのかもしれません。ひそひそ話をしている友達は、好きな人の話など、2人だけの秘密の話をしているかもしれません。このように別の理由を考えてみると、友達の笑い声やひそひそ話は自分とは無関係で、自分が悲しい思いや嫌な思いをする必要がなかったということが分かります。

今回は、友達との関係における例をあげましたが、その他にも、情報が足りていないことによって、ネガティブな捉えをする、やる前から諦める、不安になって回避する、人ともめて関係が悪くなるなど、様々な問題が起きてしまうことがあります。これらも、すべて情報が足りていない状態で、結論にすぐに飛躍してしまうことが、原因の一つとして考えられます。

以上のように、すぐに結論へ飛躍してしまっ、ネガティブな感情や状況を起こしてしまうことを防ぐために、◎結論を出す前にいったん留まること、◎なるべく多く情報を集めること、◎周りの人に聞いてみるのが大切です。当たり前のようですが、子どもが情報を集めやすいように、周りの大人が日ごろから、困ったときはすぐに聞けるような関係づくりや、フォローしてあげられる状態を作ることが心掛けておくこともとても大切です。



(文責：相談員 林 由季)

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、そして読書の秋となりました。10月後半から、通級生も、芸術に親しむ体験活動「陶芸教室」を行うために上下浜の工房まで電車に乗って行ってきました。3回の体験活動で、一人一人個性的な作品作りに挑戦しました。



「作りたい形を表現」

1回目は、お二人の先生方から粘土の練り方、形の作り方について学んだあと、作りたいものの形に粘土を成型しました。

2回目は、素焼きしたものに、模様を描いたり、色を付けたりしました。どんな模様にしようか、どんな色にしようか、完成時の作品をイメージしながら作業を進めました。

「模様や色を付けました」



最終日、焼きあがった作品を焼釜からいねいに取り出しました。子どもたちは、自分で思っていた通りにできた、思っていた以上にできたと感想を話し、仕上がった作品に感動していました。最後に、底をやすりでやさしく削り、磨きをかけて完成しました。

粘土を練り、形を作り上げる造形活動は、指先の造形能力を鍛えるとともに、自分の中のイメージを広げたり、感性を育てたりすることにつながる有意義な活動でした。また、参加した子どもたちは、仲間や講師の先生方とかかわり合いながら、一人一人が気持ちよく作品作りに励むことができ、すてきな作品を持ち帰ることができました。

持ち帰った作品は、教育センター玄関に展示して、みんなに観てもらおう計画です。

(ふれあいルーム指導員 神林 治男)



「お二人から教わりました」



「個性的な作品ができました」

教育相談班 12月の予定

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (S S T)

- 5日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 12日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 19日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 25日(木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 26日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ

《ふれあいルーム》

- 2日(火) ソフィアセンター
- 10日(水)・11日(木) 保護者面談
- 12日(金) そば打ち体験
- 18日(木) スケート教室 ①
- 22日(月) 後期前半通級終了



1 2 月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	月	
2	火	研:道徳授業づくり(比角小)14:00- ふ:ソフィアセンター10:00~11:40
3	水	研:子どもの自殺予防講座 科:小3「磁石のひみつ」15:00-
4	木	
5	金	研:性教育 相:いろいろ体験グループ小A16:30-
6	土	科:上越の理科を語る会14:00-(上越市:高陽荘)
7	日	
8	月	相:班会議
9	火	研:算数・数学師範授業(日吉小)14:00-
10	水	研:学校支援地域本部事業研修会(事務職員向け) 科:小4「人の体のつくりと運動」15:00- ふ:保護者面談
11	木	研:どの子どもねらいを達成する授業づくり(瑞穂中) 14:00- ふ:保護者面談
12	金	ふ:そば打ち体験(半田コミセン)9:30~13:00 相:いろいろ体験グループ小B16:30-
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	情:フリーQ&A ふ:スケート教室①(アクアパーク)9:30~11:45
19	金	相:いろいろ体験グループ小C16:30-
20	土	
21	日	
22	月	ふ:後期前半通級終了
23	火	天皇誕生日
24	水	情:デジタルビデオ編集入門13:00-
25	木	相:いろいろ体験グループ中①18:30-
26	金	研:スクールサポート事例研修会②14:00- 相:いろいろ体験グループ中②18:30-
27	土	
28	日	
29	月	年末休日
30	火	年末休日
31	水	年末休日
		研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班
		ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター



所 員 随 想

鼻濁音

教育研究班指導員 小林 淑子

先日「か°」という表記を初めて見ました。これは「んが」と鼻に抜けるような感じで発音する鼻濁音の表記。「語中語尾にある濁音、また助詞や接続詞は、原則として鼻濁音で発音する」という法則があるとのこと。

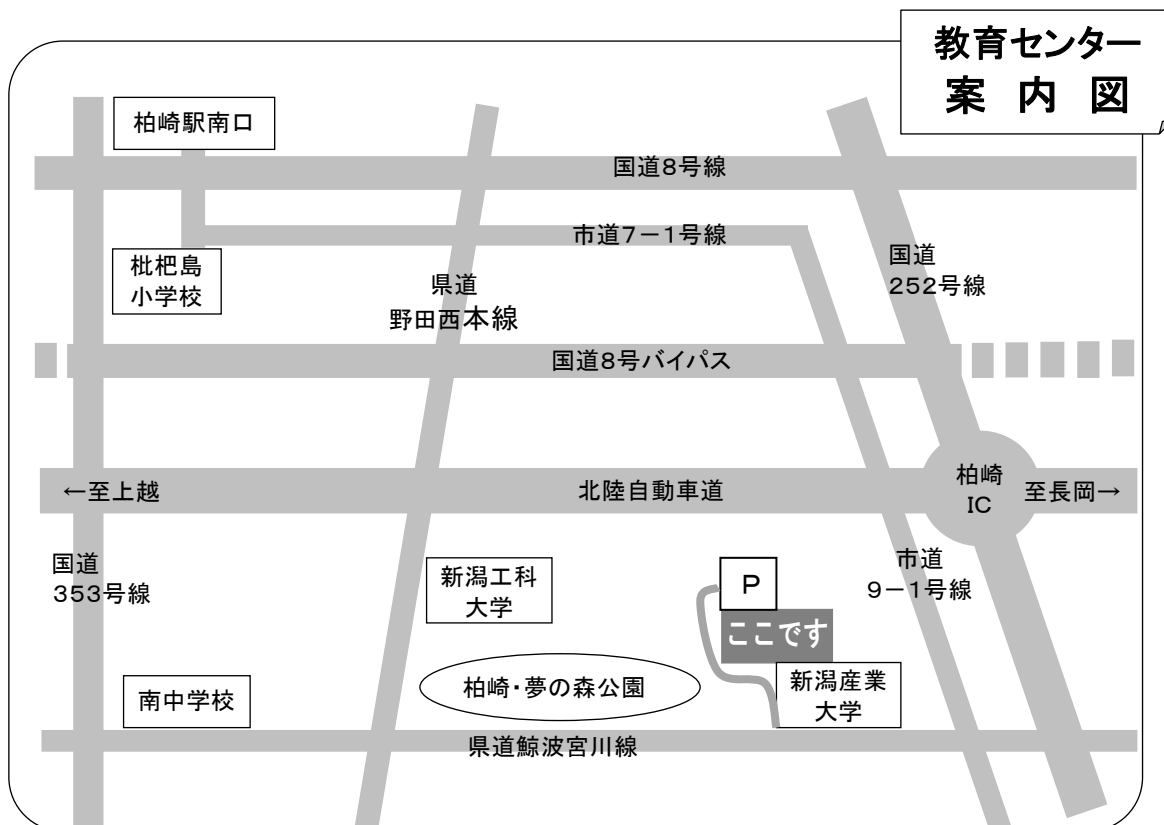
遡ることウン十年前の小学生時代の音読の時間からこれまで、文章を声に出して読むときは書かれている文字通り「が」は「が」と発音するのが正当だと思っており、鼻濁音の発音、ましてや法則までもが存在するとは驚きでした。

確かに、アナウンサーや滑らかにお話される方の発音を意識して聞いてみると、決して「が」と言われていません。全ての言葉が優しく溶け込むように流れています。由紀さおりの歌を聴いていて、柔らかいな～、美しいな～、しっとりしているな～と感じていたのは、この鼻濁音効果でもあったようです。

逆に、NHK連続テレビ小説「花子とアン」の主題歌「にじいろ」の発音は間違っている、鼻濁音を使っていないという批判の記事を目にしました。個人的に「にじいろ」を歌う綾香の独特な歌唱法はとっても好きです。きっと、こちらは濁音の魅力を活かし、J - p o p ならではの曲想を表現しているのかもしれない。

これからは文字では同じ「が・ぎ・ぐ・げ・ご」でも、発音で変化するこの表現方法を楽しみながら声に出してみようと思います。では、まずは一曲、「ふるさと」を。♪うさぎ° ～お～いし かのやま～





〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年11月発

=====